

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 3 年 6 月 4 日

住 所 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-463

県内企業等の名称 ウォータースタンド株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 本多 均

ウォータースタンド株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

SDGsは当社にとって未来の世代からの宿題です。「ごみを減らす」といった消費のプロセスの一部を改善することではなく、マイボトルに給水することで、生産、運搬、消費、回収、リサイクルというリニア型経済のプロセス全体を見直して参りたいと考えています。循環型経済に移行するために事業を通じてより良い行動をとることへの呼びかけを広げることで、SDGsの達成に貢献して参ります。

| 三側面 | SDGs達成に向けた重点的な取組 | 指 標 |
|-----|---|--|
| 環境 | ・2019年から地方自治体と使い捨てプラスチック削減に向けた連携協定を締結し、マイボトルに給水と呼び掛ける「ボトルフリープロジェクト」を推進。 ・環境目標を定め、ISO14001を取得。環境・社会データを盛り込んだウォータースタンドレポートを発行。(誰もが給水できるウォータースタンド:2020年6月度累計159台) | <2030年に向けた指標> 誰もが給水できるウォータースタンド(給水スタンド)を2万台設置 <取組開始3年後に向けた指標> 誰もが給水できるウォータースタンド(給水スタンド)を6000台設置 |
| 社会 | ・多様な働き方の推進と長時間労働抑制のため、全社員がスーパーフレックス制度を選択できるようにしています。 ・営業車両ではなく自転車を使用するエコサイクル手当を2020年2月に導入し、業務の全プロセスでSDGs達成に取り組むことで従業員の働き甲斐向上につなげています。(2020年6月度男女比54.7%:45.3%) | <2030年に向けた指標> 左記の各制度導入により、総合職における男女比50%:50% <取組開始3年後に向けた指標> 左記の各制度導入により、総合職における男女比53%:47% |
| 経済 | ・ウォータースタンド設置台数から使い捨てプラボトル削減本数・CO2排出抑制量を推計し開示しています。推計プラボトル削減本数は約8200万本、推計CO2排出抑制量は約8600t-CO2です。事業の持続的な成長が環境負荷軽減につながるSDGs経営を実践しています。(2021年6月度ウォータースタンド設置台数10万7000台) | <2030年に向けた指標> ウォータースタンド設置台数100万台 <取組開始3年後に向けた指標> ウォータースタンド設置台数25万台 |

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。